

ふるさと応援団木島平会会報

ルクセンブルク航空写真の旅 写真展

中町展示館（みゆき野アート村岩上隆静館）では、今月 28 日まで「ルクセンブルク航空写真の旅」写真展が開催されています。この写真展は今年の 9 月まで在日ルクセンブルク大使館で開催されていたもので、熱気球から撮影された航空写真を展示しています。

ルクセンブルク人写真家作家のロブ・キーファー氏とパイロットチームがルクセンブルク大公国の最も魅力的な風景や町並みの上を漂い、アイデンヌのエイスリング地方やグットランド地方、ルクセンブルク市内を上空から撮影しています。この機会にルクセンブルクの雄大な景色をご覧になつてはいかがでしょうか。

【お問い合わせ】

中町展示館

電話 0269(82)3105



写真家

ROB KIEFFER (ロブ・キーファー氏)

☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

千石区

地区のテーマ
(将来像)

ホタル飛びかう千石の郷

私たち千石区は、全戸数 20 戸という小さな集落であり、大きな区では隣組の戸数にも及びません。その中で、県外や他地区から転入してきた皆さんで 8 戸を占めています。徐々に戸数が減りつつあった中で、大変ありがたく力強く思っています。

そんな特殊な状況ではありますが、春の桜の咲く時期は公会堂の桜の下で老若男女大勢参加のお花見、そして花の植付けシーズンには県道沿いに 3 アールほどの無償で提供していただいた畑に花壇を作りシーズンを通じて全戸で管理をしています。

また、秋には長年途絶えていた獅子舞を 8 年前より復活させ、新たに入られた方々にも協力していただき、これからも末永く継続していければと願っています。秋の夜空に響く笛、太鼓の音そして皆さんの喜ぶ顔、こうして小さな区であつてもなんとか区民全員協力し伝統を守りながらまた、新たな伝統をつくりあげていかなければならないと感じています。



昭和 30 年前後の千石 山田孝雄（千石出身）

小学生当時（昭和 26 年、往郷小学校入学）の千石は萱葺きの十六軒。

お宮でやった道陸神、夏休みの自習会、獅子舞の練習……。夢中で遊んだバッチ、ビー玉、釘通し、カジカ捕り。あの頃に戻れる大切な集落だ。

【写真】

母ちやの米寿記念に作った
当時の我が家の模型。



鬼島太鼓調布公演のお知らせ

鬼島太鼓の調布公演「春を弾つ」が次の日程で行われます。詳細については、会報 1 月号でお知らせします。

- 期 日 平成 21 年 2 月 22 日（日）
- 開 演 午後（調整中）
- 場 所 調布市グリーンホール
- 定 員 1300 人
- 入場料 無料

【事務局】

会報に掲載したい記事等がありましたら何でも結構ですのでお寄せください。来年も皆様方のますますのご活躍とご健康を祈念し、一年間の御礼にかえさせていただきます。よいお年をお迎えください。

ふるさと応援団木島平会
事務局

ふるさとに願いをかけて

實井 護（北嶋出身）

生家へと続く道筋ひろがり入口さへもおぼつかなくて稜線が穏やかに見ゆる古里に拘りごとひとつ放ちやりたり

何年くらい前だったか、役場前から内山と馬曲に通ずる道路が広くなり、生家の入口に気づかず、かなり上まで上つてしまった。その時道路が広まると距離感が短くなることを知った。

村内の道路や公園、通信など地域環境の整備、生活環境の整備が進んでいるのは嬉しいものである。けれども長野電鉄木島線が廃止されふるさとへの足が不便になったのは残念である。

電車を降りて飯山、栄町や中町の商店街の状況を見ると寂しい。スキー客や温泉客の足はどうなっているのだろうか。

小・中・高校の統合が進められている中、高校生用のスクールバスのお話を聞いた。最近デマンドバスが運行されている。利用者は少ないようだが救われている人もいる。ふるさとには「そこで生活する人たちに住みよいと感じてもらえる居場所」を築いてほしい。

この秋、北嶋の獅子舞と天狗の舞を 35 年ぶりに見ることができた。20 代から 30 代の大勢の人が汗をかいている姿、それを見に集まった人たちの歓喜にホッとした。今も笛の音色が耳底に聞こえてくる。いい思い出となった。来年は妻を連れていきたいと思っている。



▲大正 14 年開業以来、77 年間の歴史に幕を閉じた長野電鉄木島線（H14.3.31 廃止）